

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【記入例】

提出日 令和 年 月 日

団体名	
代表者名	
電話番号	

記入例を参考に、活動の特性に合わせて、どう活動すれば感染症対策となるかを記入して下さい。

配慮事項	内 容	個別対策
◇基本的な感染症対策の実施		
感染源を断つ	発熱等の風邪の症状がみられる利用者については、資料館に来館しない。	自宅で検温して37.5度以上、又は平熱より1度以上熱がある場合は参加しない。 館内に持ち込む器具は各自で消毒する。
感染経路を断つ	手洗いや咳等エチケットを徹底するよう参加者にもとめる。	資料館敷地内では参加者は全員マスク着用。 マスクがない場合は手作りマスク着用。
	活動開始前の手洗い、終了後の手洗いを必ず行う。	団体代表者が開始前に手洗いを行ったか確認する。
◇集団感染のリスクへの対応 ※密閉、密集等の個別対策をそれぞれ1項目以上記入。		
密閉しない	窓を開けて実施するか、1時間に10分間の換気を行う。	基本、開けることが出来る窓は開ける。 50分活動したら休憩し、換気を10分行う。
密集しない	多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮を行う。	会員同士の距離を1.5m以上空ける。 長机に1人ずつ座るを原則とする。 1.5m以上空げるために、参加人数を制限する。
密着しない	①近距離での会話や発声等の際のマスクの使用等	マスクを全員着用。 対面着席しない。 対面着席の場合は1.5m以上距離を空ける。
	②大声を出す活動はなるべく控える。	会話程度以上の声を発しない。
	③飲食を制限する。	水分補給は各個人が水筒を持参する。
	④直接手と手の接触を伴ったり身体的接触のある行動は行わない。	他人と接触するような行動はとらない。
◇連絡体制		
連絡先	参加者名簿を作成する	参加者は氏名、連絡先を記入する。 感染者が出た場合には参加者に連絡し、保健所等と連絡できる体制をとる。